

# 当事者が語る

# 「ひきこもり」

不登校、ひきこもりの経験者が、  
その思いや家族、支援者の  
対応についてお話しします。

身近な人が「ひきこもり」で心配だけど、どのように接したら良いか、  
どんな思いなのか分からないと感じたことはありませんか。  
この講演会では、外からは見えづらい当事者の思いや、  
家族や支援者、身近な人ができることや考えてほしい視点について、  
不登校やひきこもりの経験者がお話しします。  
「誰もが生きづらい」と言われる現代社会において、  
いつでも誰でもひきこもりになる可能性はあります。  
誰もが安心して生きられる社会づくりのために、  
一緒に考えてみませんか。

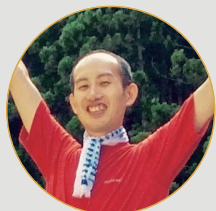
2022年 **12/7** 水

13:30-15:10 [開場13:00]

瓦町フラッグ8階  
市民交流プラザIKODE 瓦町  
大会議室1・2

参加無料  
要予約

講演会終了後に  
「小さな交流会」も  
実施予定



登壇者  
勝山 実氏

1971年、神奈川県生まれ。横浜の大地が生んだテクノボー。自称、ひきこもり名人。高校3年で不登校になり、以来ひきこもり生活に。著書に『バラ色のひきこもり』(Kindle版/金曜日)、『安心ひきこもりライフ』(太田出版)、『ひきこもりカレンダー』(文春ネスコ)がある。日本酒、戦国時代、乳酸菌が好き。



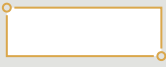
コーディネーター  
林 恭子

一般社団法人ひきこもりUX会議共同代表理事。高校2年で不登校、20代半ばでひきこもりを経験する。著書に『ひきこもりの真実—就労より自立より大切なこと』(ちくま新書)。

主催 | 一般社団法人ひきこもりUX会議

後援 | 香川県、高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町、宇多津町、綾川町、琴平町、多度津町、まんのう町、香川県教育委員会、高松市教育委員会、高松市社会福祉協議会

協力 | 一般社団法人hito.toco、KHJ香川県オリーブの会、一般社団法人toki-line



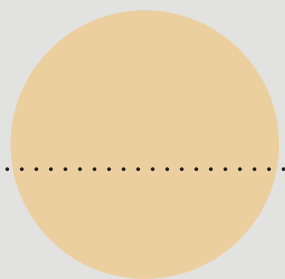
## 瓦町フラッグ8階 市民交流プラザIKODE瓦町 大会議室1・2

[ことடன்・ことடன்バス「瓦町」下車すぐ]

(〒



※1 申込先着順(定員に満たない場合は当日参加も可能です。その際、感染防止対策のため受付にてお名前・連絡先をご記入ください)



### 感染拡大防止対策について

会場では新型コロナウイルスの適切な感染防止対策(検温、体調確認等)を実施します。マスク着用や手洗いなどの自己管理を含め、取り組みへのご理解とご協力をお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症の状況や、予期せぬ自然災害の発生等によって開催を延期または中止する場合があります。

### 本イベントには取材が入る可能性があります

このような取り組みや現状を広く知っていただくため、新聞やテレビ等の取材を受け入れる場合があります。その場合は参加者の方々のプライバシーと安心・安全の維持に最大限配慮します。

ひきこもり  
UX会議



### 一般社団法人ひきこもりUX会議

不登校、ひきこもり、発達障がい、性的マイノリティの当事者・経験者らによって発足。当事者の視点から「生存戦略」の提案・発信を続けるクリエイティブチーム。

✉ [info@uxkaigi.jp](mailto:info@uxkaigi.jp)

🌐 <https://uxkaigi.jp/>

🐦 <https://twitter.com/uxkaigi>

📘 <https://www.facebook.com/uxkaigi>